

# 取組個票①5年間の取組全体概要

①取組名	取組04	歴史環境を活かすまちづくり
②対応する目標・課題	人と人、まちとまちが繋がる交流都市	
③対応する評価指標・目標値	■評価指標:釜石市への移住世帯数	■目標値:3世帯(平成22年度)→5世帯(平成28年度)
	■評価指標:週1回以上スポーツを行った人の割合	■目標値:18%(平成24年度)→33%(平成28年度)
	■評価指標:釜石市来訪者数(観光客入込数)	■目標値:92万人(平成20年度)→110万人(平成28年度)
④取組内容 我が国近代化の幕開けに寄与した橋野高炉跡及び関連遺跡をはじめとする一級の産業遺産をまちづくりに活かし、当面5年間は釜石フィールドミュージアム構想の展開や近代化産業遺産郡の情報発信を展開する。 また、ラグビーをはじめ震災で大会を休止した鉄人レース(トライアスロン)など、今後5年間にラグビーW杯誘致に向けた取り組みなどのスポーツ振興を図ることで、交流人口の拡大と経済効果を創出し、あわせて市民の心に再び希望を灯し、特に子供たちのふるさとを愛する心と誇りを復興させることを積極的に展開する。		
⑤エリア ○市内全域(フィールドミュージアムの展開イメージ)		
⑥主体 ○市民団体 ○釜石市		
⑦活用した国等の制度 ○森林・林業・木材産業づくり交付金(林野庁、橋野鉄鉱山インフォメーションセンター建設) ○第71回国民体育大会市町村競技施設整備補助金(H24) ○スポーツ振興くじ助成金		
⑧地域の関与 民間主体の任意団体「鉄のふるさと創造事業実行委員会」に等による推進協議会の設立 A&Fグリーンツーリズム実行委員会や観光ボランティアセンター等との連携強化		
⑨スケジュール		
23年度	橋野高炉跡整備計画の策定 鉄の歴史教育の充実 世界遺産登録の推進(推進協議会加盟) 多目的公園整備事業(検討開始)	
24年度	橋野高炉跡整備計画の策定 橋野鉄鉱山インフォメーションセンター計画(設計着手) 鉱山ニューツーリズム(構想着手) ラグビーの街釜石普及啓発事業 鶴住居地区スポーツレクリエーション拠点整備事業(調査事業)	
25年度	橋野高炉跡整備計画の策定 橋野鉄鉱山インフォメーションセンター計画(施工)	

26年度	ラグビーの街釜石普及啓発事業 鶴住居地区スポーツレクリエーション拠点整備事業(実施設計)
27年度	ラグビーの街釜石普及啓発事業 鶴住居地区スポーツレクリエーション拠点整備事業(建築工事)
28年度	ラグビーの街釜石普及啓発事業 鶴住居地区スポーツレクリエーション拠点整備事業(建築工事)
29年度以降	ラグビーの街釜石普及啓発事業
<p>⑩他の取組との連携</p> <p>取組名：高齢者の積極的雇用 連携内容： それぞれの専門的知識や技術を有する高齢者の積極的雇用の拡大を図る。大橋地区の近代化産業遺産群を活用した体験型観光商品の開発、鉄の語り部育成、鉄の歴史教育における製鉄体験キャンプや副読本の作成、さらには、鶴住居地区スポーツレクリエーション拠点をはじめとした施設の運営、ラグビーの選手育成事業などにおいて積極的な雇用の機会のシステムを構築する。</p> <p>取組名：高齢者による健康づくり 連携内容： 保健、医療、福祉などとの連携・支援を図り、高齢者などの健康づくりの一貫として、多目的公園の施設利用も含めた健康増進プログラムを構築する。</p>	
<p>⑪自立・自律の方針・目標</p> <p>○ふるさとに自信と誇りを持つ市民が増え、人や地域間の絆やコミュニティの再興が図られる。 ○地方の小都市が大都市にもないオンリーワンの地域づくりに自信を持って取り組む一層の契機となる。 ○歴史環境を活かしたまちづくりとともに、「観光都市かまいし」も目指し、人材育成や近隣他地域との連携強化などによる交流人口の増加を図る。</p>	